

科目名	課題研究3		科目コード	1920	
開講学科	音楽学科	単位数	2	形態	演習
教員名	石上和也・出口実紀				
授業の目的及びテーマ					
<p>本科目では、地球上の人々が各々享受しているさまざまな音楽をとりあげる。世界中のあらゆる音楽に関し、歴史的、空間的にできるだけ幅広く接する意欲を持ち続けるとともに、テキストに記された新しい研究の視点を理解することが大切である。</p>					
授業概要					
<p>諸民族の音楽をより深く理解するためには、音楽と人間の関係性や社会、歴史、伝承といった複数の視点からの考察が重要である。そのために、民族音楽学の定義および研究方法を学んだうえで、各自が主体的、客観的に個々の音楽文化の特徴を理解し、記述しようとする意識法を身につける。特に歴史の変遷、空間的伝播と変容の諸相を観察し、ドキュメンテーションを通じてそれぞれの文化が持つ「テキスト」と「脈絡（コンテキスト）」の多様性を理解する。</p>					
授業計画					
<p>第1回：民族音楽学の定義 第2回：音楽と身体 第3回：民族舞踊学の方法論 第4回：音楽を記録する行為 第5回：音・声・ことば 第6回：音楽・芸能の伝承について考える 第7回：音楽研究の方法論①（採譜と分析） 第8回：無形文化遺産・無形文化財としての伝統音楽 第9回：マイノリティと音楽 第10回：音楽研究の方法論②（映像と録音） 第11回：文化の越境・ディアスポラ 第12回：音楽研究の方法論③（フィールドワーク） 第13回：グローバル化とアイデンティティ 第14回：諸民族の音楽と著作権の問題 第15回：民族音楽学への流れ</p>					
テキスト	「民族音楽学12の視点」徳丸吉彦 監／増野 亜子 編（音楽之友社）2016年		参考文献		
評価方法：					
<p>通信授業は提出課題3件を以って評価する。</p>					